

令和3年11月17日～19日

天政会 (中村三千人・脇島義純・勝木幸生・宮下幸一郎・小川圭三)

今回の研修に当たっては、新型コロナウイルス感染症対策に係る熊本県リスクレベルが「レベル2」に引き下げられたこと、また、感染者数が非常に少ない状況が継続していたことから、感染対策を万全に行った上で、実施しました。なお、移動はすべてマイクロバスを利用し、提示を求められた場合に備え、新型コロナワクチン接種証明も携行しました。

## 道の駅「むなかた」 福岡県宗像市

### 視察報告

道の駅「むなかた」は、敷地面積約30,000㎡で、自主運営されており、職員はパート等を含め約55人が従事されています。総売上げ額は2016年に約185億円、客数約80万人、客単価2,300円/人をピークに2019年には163億円、客数67万5千人とやや落ち込みはあるもの、客単価は2,300円/人と推移しているとのことでした。売上げ構成比としては、海産物34%、農産物23%、加工食品19%、菓子・パン7%、畜産物5%、その他12%と新鮮な地域の特産品が購買意欲をかき立てており、出品者数は約600者で購買力の高さから出品希望者も増加しているとのことでした。出品者からの徴収利用料は基本料1,030円/年、販売手数料として12%から16%と設定してありました。



### 視察を終えて

目前を玄界灘に面し海産物が大きな売上げと自主運営における規模拡大を図っておられ、近隣大都市圏に購買力を持ち、すぐ近くにある宗像大社が相乗効果をもたらしていました。近隣の大都市圏からのリピーター率の高さが何よりの魅力でした。多くの道の駅と比較してもレジャースポットとしての整備に力点をシフトしながら時代のニーズに対応して事業展開を実行されていました。

## げんき館「おおぶち」 福岡県八女市

### 視察報告

八女市大淵体験交流施設「げんき館おおぶち」は大淵小学校跡地利用について、地元からの要望により平成28年4月1日にオープン。大淵地区は八女市中央から約30分の山間部の静かな地域です。約2億3千万円を投じて整備された施設で、熊本震災時の避難施設として提供していただいたことは記憶に新しいところです。市内はもとより、市内外から利用者があり、利用者からの口コミで拡大されていることは大きな成果とのことでした。



「学校に泊まろう」をキャッチコピーとし、誰もが抱く校舎に泊まることへの憧れを実現する昼食や宿泊もできる施設でありました。地域から小学校がなくなっても地域振興の大きな起爆剤として、地域住民が自分たちで地域を守るという意識で、地域おこし協力隊が運営に携わっておられました。また、季節に合わせた体験メニューは好評とのことでした。

### 視察を終えて

解体されるのを見るに見かねた住民が、自主的な活動の場として利活用を買って出た事例でありました。地域おこし協力隊も大淵地区に居住することを意識して、住民と地域の良さを引き出していたのが印象的でした。解体して廃棄することよりも、使えるものは工夫して利活用したほうが住民の生活の中の施設として憩える場となるはず。本市の廃校跡の利活用についても再検討が必要と感じました。

そこが聞きたい!! ここを聞きたい!!

## 一般質問

QRコードで質問の動画が見られます。

8 澤井一富 (市民クラブ)



●天草市の観光政策全般について  
●天草市の教育全般について



**澤井** 崎津教会付近の市道に段差があり危険。観光地のインフラ整備の状況は。

**観光文化部長** 観光施設は支所や業務委託先と連携し、適正な管理に努めている。崎津集落内の段差等は、河浦支所において対応する。

**澤井** 五和町には歴史的な言い伝えがある鬼の城公園、岩谷観音様などがあり、祭りが開催されている。観光資源としての活用は。

**観光文化部長** 地域に残る歴史的資源や祭りなど後世へ引き継がれるよう、また、訪れていただくよう、地域の方々と共に地域資源を磨き上げていきたい。

**澤井** 自然豊かな天草にいながら、子ども達は大地や海、川に触れる機会が減少している。施政方針で掲げられた事業を今後どのように取り組んでいけるのか。

**市長** 「天草ならではの教育」としてICT教育だけでなく、「体験の島」としての取組を進めていく。



▲五和町の鬼の城公園

天草の強みである美しい自然、多様な産業、伝統ある歴史文化、地域で子ども達を育てる人のつながりを活かした体験教育に取り組む。

**澤井** 五和は北の玄関口。イルカセンターもあるが、文化、歴史に多くの貴重な資源がある。時代はノスタルジーに回帰する。地域住民、振興会、市と力を合わせ、観光復活で天草を盛り上げたい。教育では体験学習を通じ、「生きる力」を育んでいただきたい。

## コロナ禍 市議会傍聴 ～新型コロナウイルス感染症への対応～



▲議場入室前に検温等を行います

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、天草市議会では、議員各自が健康管理と感染予防対策を徹底するとともに、本会議場などでも予防対策を行っています。市民の皆様にも全国的な感染拡大により、これまで本議会および委員会の傍聴自粛にご協力いただきました。

第7回定例会の会期中は感染状況も落ち着きを見せていたため、傍聴席の数を減らすなど次の感染拡大防止の対策にご協力のうえ、傍聴いただきました。

### 新型コロナウイルス感染症拡大防止のご協力をお願い

- マスクの着用
- 手指の消毒
- 検温
- 傍聴受付簿(住所・氏名・連絡先)等の記入
- 間隔を空けた指定席のみの使用

※満席になった場合は市役所3階ロビーでのモニター視聴となります。  
※感染状況により、傍聴の自粛をお願いする場合があります。



▲間隔を空けた傍聴席